

2012 年度教員研修留学生（馬静氏、Ms. Ma Jing）に贈る

指導教員 篠原 文陽児（総合教育科学系教育学講座）

Congratulations for the completion of your programme!

It is my great honor to be your supervisor under the Teacher Training Programme at Tokyo Gakugei University, and I am very much proud of the excellence in all of your cooperative activities shown and done for one and half year here at the Educational Technology Research Room and at other various places and occasions.

特に、平成 23 年 10 月以来 1 ケ年半、異国の地でのご研鑽の成果である研究成果報告書の完成とご発表、そして、昨年（平成 24 年）8 月と 11 月の 2 度の国際会議（中国北京市及びタイ国バンコク市）でのご発表は、あなたご自身にとってはもちろん、母国中国と我が日本国、そして何よりも、バンコク市でのご発表が全 123 件の中から Highlight として選ばれた 3 件のうちの一つであることから、アジア太平洋地域の国々にとっても、長く残る有意義な業績であると確信し、心からお祝い申し上げます。

馬静氏の研究報告書の表題は、Moral Education Enhanced by Internet in IT Courses at Secondary Education Level である。

氏の母国中国における中等学校教育の中でも IT 教育（情報教育）は、日本国はもちろん世界各国のそれらと同様に、長い教育と実践の歴史の中では、まだまだ、半世紀にも満たない、若く、解決すべき課題の多い、混沌とした分野である。氏は、こうした現状にある IT 教育の内容と方法のうち、中国と日本そして世界的な動向において緊急性の高い「Moral Education」を授業過程に導入する方策について、知的財産権の指導を柱の一つに取り上げ、科学技術の発展と生徒の発達段階及び彼らの興味と関心、そして、若者文化を重視した豊かな経験に基づく実例と確かな文献によって、見事なまでの報告書に仕立て上げている。

現在、科学技術の発展を基盤とする情報通信の急速な導入と展開にともなう社会のグローバル化により、教育の「質」が重視され問い続けられている。そのため、教育改革にかかる政策や提言が、文部科学省はじめ関係各省庁や公的あるいはこれらに準ずる諸機関から、日々手元に届けられたり報道されたりしている。これら一つひとつに丹念に目を通し理解し、研究と実践に生かすことは、我々日本人でさえも、困難を来すほどである。当然ながら、大多数は日本語である。そうした環境の中での成果としても、高く評価できる報告書となっている。

今後、氏には、日本滞在中での勉学と本報告書上梓を含む研修成果に加え、国内及び国際会議への参加と発表など多様な経験と体験をもとに、ご自身の研究の深化と進展及び実践が大いに期待される。同時に、研修期間中に出会った多くの友人・知人との人間関係を深め、新たな時代に向かう学校教育を中核とした文化と歴史の創造、そして、何よりも、日本と中国両国の持続的な発展と交流についても、氏は、いっそう有為な理解者及び推進者の一人として、幅広く活躍してくれるに違いない。

著作権違反に触れないことを願いつつ、Apple 社創始者の一人である S. Jobs 氏が 2005 年 6 月 12 日スタンフォード大学における卒業生向け講演で語った「Stay hungry, stay foolish」にならって、ここに、私の同僚馬静さんに、贈る言葉を記したい。

「Stay innovative and intelligent with consideration about multidimensional harmony at the heart of education in China as well as in Japan and in the world.」

(2013 年 2 月 22 日記 FS)